

2023年度千葉県代協第4回理事会議事録

日時 2024年4月17日(水) 13:00~16:00
場所 長沼原勤労市民プラザ 2階 多目的ホール

<出席理事>(敬称略) 24名

小口泰伸、原幸司、五木田厚、今西英人、東正己、積田淳、秋元浩、中臺勝美、川名敏弘、佐藤隆二、福原鋭司、石岡邦彦、森廣賢一、相川幸雄、新貝大輔、安藤康子、田原豊、筒井隆行、熱田隆道、横山一臣、清水武史、石井清、倉富宗久、伊藤綱人、

<欠席理事>(敬称略) 4名

池辺晃司、八木優、椎名義明、山田悦孝、

<出席監事> 栗田秀美

<欠席監事> 宅間稔

司 会：東専務理事

議 長：小口会長

議事録作成人：東専務理事

<議事>

1. 会長挨拶 小口 泰伸

本日は理事会にご参集いただきましてありがとうございます。2023年度の三冠王最終結果ですが、最後の最後で6店の加入があり、2年連続の三冠王獲得となりました。ご尽力に感謝します。能登半島地震義援金も千葉代協として16万円を超えるご支援をいただきました。この義援金は石川県代協に渡されます。被害状況としては輪島地区20店の会員のほとんどが全壊または半壊との状況です。復旧にはまだまだ時間がかかる見込みです。日本代協から損保各社に保険の解約に伴う手数料の戻し入れを行わないよう要望しました。承諾いただいた保険会社もあったとの事です。

2. 報告事項

(1) 日本代協報告 3月8日臨時総会

主に次年度の事業計画、予算案を審議する場となっています。

- ・第1号議案 2024年度事業計画案、第2号議案 2024年度正会員会費額案、第3号議案収支予算案すべて原案通り承認された。
- ・事業計画の中では委員会相互の連携強化、代理店におけるガバナンス体制の構築に向けた取り組み、顧客本位の業務運営の妨げとなる事案の収集が追加された。
- ・各代協単位でのSDGs宣言を行う。
- ・全国の入会目標は338店。
- ・三冠王は「仲間づくり」「コンサルティングコース」「ぼうさい探検隊」の3項目のみ。素晴らしい活動をした代協に特別賞が新設。
- ・予算案では会員減少等による収入の減少となり金縮財政となり、出張旅費規定の見直しも行われた
- ・チャブによる代理店賠償の2022年10月~2023年9月までの事故相談に関

する分析があり、自動車保険相談件数がトップでその多くは代車費用特約の付保漏れの相談が急増。

- ・金融庁との意見交換会については事前にメールしてあるのでよく読んでほしい。

今回が 2022 年度総会において選出された理事による最後の理事会となります。2 年間お疲れ様でした。そしてありがとうございました。本日も最後まで活発な議論をお願いいたします。

(2) 委員会報告

◆企画環境委員会（五木田委員長）

3 月 1 日に委員会を開催。4 月 9 日に日本代協企画環境委員会が行われ、2024 年度の事業計画について議論され、2023 年度と方針は変わらず継続していくことになった

◆教育委員会（積田委員長）

日本代協アカデミーまだ利用されていない人も多くいますので、2024 年度も引き続きアカデミーの加入推進をしていく

◆組織委員会（原委員長）

仲間づくり

目標を達成することが出来良かった。入会 16 店退会 9 店と純増することが出来ました。ご協力に感謝します。

◆広報委員会（秋元委員長）

千葉日報広告掲載について、千葉日報から封筒が各代理店に届いていると思うが、5 月 10 日まで申込受付しているので申込をお願いします。

◆CSR 委員会（東委員長）

3 月 8 日に委員会を開催。赤い羽根募金が 112,726 円集まり 3 月 29 日に日本赤十字に振り込み済み。ぼうさい探検隊は 2 月に各支部にチラシ等を送っており、動き出しています。引き続き活動にご協力をお願いします。

◆総務委員会（今西委員長）

BCP の策定を 3 月にしましたのでご確認願います。会計については後程の協議時にお話ししたいと思います。

(3) 支部報告

◆千葉支部（五木田支部長）

4 月 26 日に総会があり、総会后、火災保険座談会と懇親会を開催予定。

◆銚子支部（熱田支部長）

2 月 15 日、3 月 12 日に支部役員会を開催。新旧支部役員の引継ぎ等をした。支部総会は 4 月 16 日に書面決議で行った。

◆東葛支部（横山支部長）

4 月 9 日に支部役員会と支部総会を開催。総会后保険会社も呼び懇親会を開催。

◆京葉支部（新貝支部長）

2 月 2 日、3 月 11 日に支部役員会を開催。千葉日報広告についてオンライン広告の方が安価で購読者も多いのではないかという意見があった。6 月 4 日にローンセミナーを開催予定。8 月 2 日に茂原支部と交流会を開き、茂原支部で行われたセミナーを京葉支部でも開催予定。

◆木更津支部（森廣支部長）

・2 月 16 日に元自衛隊による平素に考える災害への備えと対応の新春セミナーを開催し 38 名の参加があった。

・3 月 4 日支部役員で役員改選の話をした。

・4 月 19 日に支部総会開催し。総会后に日本赤十字による応急講習会も予定。

資格取得できるようなセミナーを今後も開催していきたい。

- ◆市原支部（福原支部長）
4月4日支部役員騎巫を開催。4月19日の総会資料点検と6月のお出かけ君セミナーの案内。ぼうさい探検隊について討議した。
- ◆北総支部（石井支部長）
3月13日に三役会、16日に支部役員会、4月11日に支部総会を開催。
- ◆茂原支部（伊藤支部長）
 - ・4月12日に支部総会を開催。返信がなかった会員が2店あり、全会員出席してもらう事が今後の課題。
 - ・新入会員に会員証を額に入れて渡している。また名刺も白紙の台紙を渡しても喜ばれないため、印刷したものを渡したい。県代協で額と印刷の費用負担してほしい
- ◆安房支部（川名支部長）
1月25日支部役員会、3月20日献血・地震保険普及活動、4月2日支部役員会、4月12日支部総会を開催。総会后保険会社も含め27名で懇親会を開催。

(4) 事務局報告

- ・1月に事務職員が1名退職され現在1名体制。総会議案書作成等も慣れていないため奮闘している。
- ・支部総会議案書と議事録を事務局に提出してほしい。

3. 協議・審議事項

- (1) 前回議事録（2023年度第3回理事会）承認の件
意義なく承認された
- (2) 2024年度通常総会および記念セミナー開催（案）について
 - ・総会議長に市原支部福原支部長、議事録署名人に京葉支部新貝支部長と安房支部佐藤副支部長に決定した。
 - ・総会議案書を5月10日までには発送し遅くとも5月14日までには届く予定。委任状等の提出は5月21日（水）。
 - ・当日のスケジュールについて以下の通り説明があった

12:30	受付開始
13:00	政治連盟報告会
14:00	通常総会
15:30	セミナー
17:30	懇親会
- (3) 2024年度通常総会議案書について
 - ①議案書の誤字脱字修正箇所を確認した。
 - ・P3 本代協アカデミー→日本代協アカデミー
 - ・P4 行のズレと全体的にバランス修正
 - ・P4 東関東ブロック主催日本代協アカデミー（仮称→（仮称）
 - ・P5 取り組み推奨、→取り組み推奨、
 - ・P5 キャンペーンとCPを統一する
 - ・P6 SNS使用よる→SNS使用による
 - ・京葉支部第6回（3月12日）役員会が抜けている
 - ・P10 来季→来期
 - ・P10 千葉マリン→ZOZOマリン
 - ・茂原支部 新春セミナーについてについて→についてを1つ削除
 - ・東葛支部 BBQ事業について→BBQ大会について

- ・東葛支部 セミナー事業→セミナーについて（事業を削除）
- ・東葛支部 後任について→次期役員について
- ・北総支部 代協アカデミーネットチャンネル→日本代協アカデミー
- ・茂原支部 11月22日支部会員、保険会社ボウリング大会を追加
- ・茂原支部 賀詞交換会→賀詞交歓会
- ・茂原支部 能登半島地震義援金追記
- ・茂原支部 候補決定削除
- ・P15 千葉マリスタジアム→ZOZO マリスタジアム
- ・P15 携わったが→携わりましたが
- ・P15 持たしました→もたりました
- ・数字全角を半角にする
- ・P16 行いました結果→行いました結果、(点を入れる)
- ・P26 留意しなくてはならない→留意しなくてはなりません
- ・P26 代協活動に注視するようになっている→代協活動に注視するようになっている
- ・P26 優越的地位の乱用→優越的地位の濫用
- ・P28-30 字の太さ、半角全角統一
- ・周知を図るために、事業を行う→周知を図るために次の事業を行う
- ・P29 社労士診断認定制度→社労士診断認証制度
- ・SDGs →SDGs（半角にする）
- ・あいおい→あいおいニッセイ同和
- ・三井住友→三井住友海上

②2023年度決算および2024年度予算案承認について
記載内容について今西総務委員長より説明があった

以上修正した内容で議案については承認された

(4) その他

- ・2024年度理事会会場について
長沼原勤労市民プラザが大規模修繕をするため、2024年度の理事会から千葉市幕張勤労市民プラザに変更になった。

(5) 退任される以下の理事から挨拶があった

伊藤綱人、石岡邦彦、熱田隆道、中臺勝美、

監事講評（栗田監事）

中臺さん長年お疲れ様でした。非常に長い間ご尽力いただきありがとうございます。役をやり続けている支部があります。果たしてそれがいいことなのかというとやはり県代協を各支部持ち回りでもいいので三役を少しずつ変えて新しい血が入っていくことが県代協が活性化する一番大きなものだと思う。新しい人たちが入り活性化できれば千葉県代協もさらに飛躍出来ると思う。支部活動費は残しすぎないでほしい。支部の活性化が県全体の活性化になります。是非そのところを頭に入れていただき来期からまた頑張ってください

以上